

らしい

あなたらしく
生きられる
社会を目指して

Like You

ゆら～



10月25日(日)氏家体育館にてゆめ! さくら博2020が開催されました。例年2日に分けて開催されていましたが、今年は1日のみ開催とされ、新型コロナ感染対策のもと行われました。

市男女共同推進委員会では、今年度の活動テーマである「女性の防災」にちなんだアンケート調査を実施しました。参加賞として災害が起きた際に役立つ防災食やグッズを配布しました。たくさんの方のご協力ありがとうございました

さくら市男女共同参画推進委員会の今年のテーマ

女性の防災

パーティ防災フォーラムに参加



8月21日(金)とちぎ男女共同参画センターパーティにて防災フォーラムを聴講してきました。講師の方が、なぜ防災に男女共同参画の視点が必要なのかを、東日本大震災や、平成27年関東・東北豪雨、令和元年東日本台風の経験をふまえて、避難所での生活や、今後の避難所運営のあり方等をお話していただきました。

講義の後に、栃木県防災士会の女性の方々に、簡易トイレや段ボールベットの組み立て設置のデモンストレーションをしていただきました。

誰にとっても安心安全な避難所生活、じっくり話を聞いてくれる心のケア、車中避難、衛生面、トイレ、食料、水など不安や心配が数多くあります。避難所運営リーダーは多くが男性で、女性の声^①が反映されるように、女性のリーダーの必要性・大切さを感じました。

東日本大震災の経験がよみがえる中、昨年は台風19号が猛威をふるい、さまざまな場所で被害がありました。心のケアを考えた設備、地域の運営リーダーの役割と養成、地域の**防災**資源の確認、避難所ワークショップの大切さを学びました。情報を活用し、協力して防災対策を1歩ずつ進めていきたいと思いました。

参加して...

東日本大震災に伴う調査(1500人以上の声)による震災時の女性たちが抱えた困難を聞き、復興計画策定の議論の場に女性の参画が必要と答えた方が85%と高い数値である事に納得しました。これからも高齢化が**進む**地域内での防災活動に積極的に参加し、お互いにSOSが出しやすい環境づくりに関わっていきたくと思いました。



段ボールベット



防災食



ゆめ! さくら博 2020 アンケート結果



ゆめ! さくら博でのアンケートには147名の方にご協力いただきました。またこどもたち向けには防災クイズを実施しました。近年、日本各地で大規模な災害が相次いでおり、私たちが住むさくら市にも、いつ災害が起きてもおかしくはありません。災害が起きた際に私たちは、自分の身や家族を守るためになにをすべきなのか、ひとりひとりが考えいかななくてはなりません。私たち委員会も防災・備災の大切さについて、これからも啓発活動に努めていきたいと思ひます。

あなたのことについて 教えてください

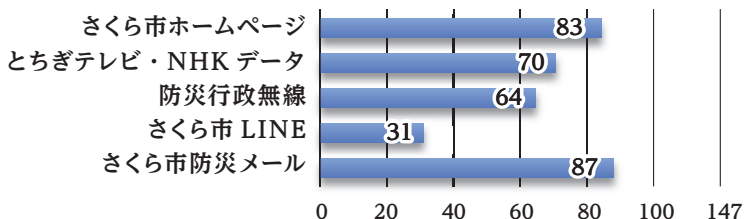


男性
36人

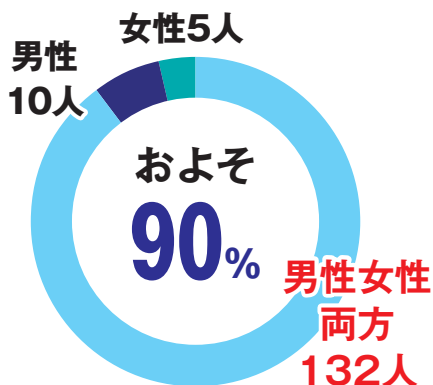


女性
111人

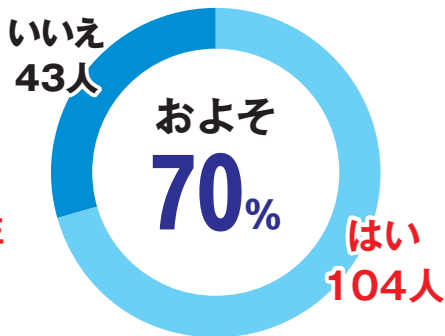
災害時に情報を入手する手段を いくつ持っていますか? (複数回答)



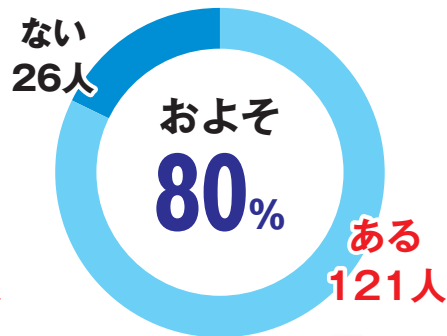
避難所において責任者や リーダーは誰がいい?



防災・減災について家族 や隣人等と普段から話し 合っていますか?



さくら市ハザードマップで 自分の家が浸水想定区域・ 土砂災害警戒区域かどうか 確認したことがありますか?



避難所生活をするにあたり不安なことは? (複数回答)

- 水や食料は確保できるのか.....24人
- お風呂・トイレ.....23人
- 洗濯できるのか.....14人
- 避難所の気温.....14人
- 困りごと相談窓口の有無.....11人
- 男女のプライバシー.....13人
- 新型コロナ感染対策について.....22人
- その他.....17人

その他意見 (一部抜粋)

- ・小さな子どもが騒ぐのは大丈夫か
- ・薬の確保はできるのか
- ・充電できるところが欲しい
- ・ペットは避難所生活できるのか
- ・視覚・聴覚障がい者の避難方法
- ・具合が悪くなった場合の対応
- ・旅行者への対応
- ・情報を得る手段
- ・避難中の家の様子

ゆめ! さくら博 2020 に参加して...

ゆめ! さくら博が開催になるまでは、新型コロナの影響で、来場者が少ないのではないかと心配もしましたが、たくさんの方に来場していただき、ホッとしたのと同時に、実施してよかったと心から思いました。用意しましたアンケート調査にも皆さん快く参加していただき、大変感謝するとともに、結果については、今後の活動に生かしていきたいと思ひます。



- さくら市男女共同参画“川柳”を令和3年1月15日まで募集しています。テーマは
- ①男女共同参画、②家族、③新しい生活様式について、④防災です。また、最優秀賞の作品には市男女共同参画推進委員長からの表彰があります。ぜひ応募してください。詳しくはお問合せください。
- ① パパとママ ステイホームで、家事をシェア P.N. ヘラ鮎ジジイ
- ② 2メートル 先に歩くは 今の妻 P.N. さつちゃん
- ③ 我が町の 愛着高まる テレワーク P.N. はまちゃん
- ④ 声かけて みんなで避難 助け合い P.N. さくら市の妖精
- ② 変身だ ゴミ出し料理 する夫(つま)に P.N. さくら市の天使
- ② ほころびを つぎつぎ夫婦 70年 P.N. コロコロばあちゃん
- ④ 災難に 衣て知るは 悔やむ心 P.N. しろやん

問 総合政策課 ☎(616)3557

お父さん なにか作って タごはん ③

P.N. かつさん

パパとママ ステイホームで、家事をシェア

P.N. ヘラ鮎ジジイ

2メートル 先に歩くは 今の妻

P.N. さつちゃん

我が町の 愛着高まる テレワーク

P.N. はまちゃん

声かけて みんなで避難 助け合い

P.N. さくら市の妖精

変身だ ゴミ出し料理 する夫(つま)に

P.N. さくら市の天使

ほころびを つぎつぎ夫婦 70年

P.N. コロコロばあちゃん

災難に 衣て知るは 悔やむ心

P.N. しろやん

編集後記

「ピンチはチャンス」だと言いますが、チャンスだと思えることも、チャンスにすることも容易いことではありません。困った時、苦しい時、辛い時、ひとりで抱え込まないで、誰かにどこかに、話してみることが、チャンスへの1歩になるかもしれません。コロナ禍にあって、心の友を思い出すだけでも、少し気持ちが温まるのではないかと思います。

男女共同参画推進委員 A・F

次回予告

市民協働企画

市男女共同参画推進委員会

×

SAKURA mama's KIRE

主に乳幼児のいる世帯へ防災意識の向上を図る活動をしている団体「SAKURA mama's KIRE」さんから女性目線での防災について学びました。KIREさんが主催する講座の取材へ行ったり、お話をお聞きしました。内容については次号でお知らせします。お楽しみに

さくら市男女共同参画推進委員を募集中

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか？イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう！老若男女問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください！

問 総合政策課 ☎616-3557

◆編集：さくら市男女共同参画推進委員会 ◆発行：さくら市総合政策部総合政策課
〒329-1311 さくら市氏家1857番地（市民活動支援センター内）

TEL：028-616-3557 FAX：028-615-7973 E-mail：sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp